

夏季休暇期間中の口蹄疫、アフリカ豚熱等の防疫対策を徹底しましょう！

本年5月、中国で口蹄疫(FMD)の発生が確認されました。また、アジアにおけるアフリカ豚熱(ASF)の発生は、本年に入ってからインド、中国、フィリピン、ミャンマー、ベトナムで飼養豚の発生が確認されており、韓国では7月に野生イノシシで確認されました。

夏季休暇期間中においても、これら越境性疾病が我が国に侵入するリスクが依然高いことから、下記の事項について守っていただきますよう 改めてお願いいたします。

- ☑ 口蹄疫やアフリカ豚熱等の発生地域への渡航の自粛。
- ☑ 看板の設置等により、必要のない者が衛生管理区域や畜舎内に立ち入ること又は不要な物を持ち込むことがないようにする。
- ☑ 衛生管理区域もしくは畜舎に立ち入る場合、手指や物の消毒、専用の靴の着用等をする。
- ☑ 病原体侵入の大きな原因となる野生動物の侵入防止対策を徹底する。
- ☑ 毎日必ず健康観察し、特定症状等が見られた時は速やかに家保へ通報する。

疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に泡状のよだれを流したり、口、ひづめ、乳房に水疱(水ぶくれ)ができるのが特徴です。

～口蹄疫の症状～



蹄球部皮膚のびらん、潰瘍



鼻端の水疱



鼻平面の潰瘍



乳房、乳頭の水疱、びらん、痂皮

むつ家畜保健衛生所

電話:0175-22-1254 夜間・休日:090-5841-6810

< 豚熱 および アフリカ豚熱の『特定症状』 >

次の1～3のいずれかの症状を発見した際には、

直ちに当所へ連絡してください。

1 耳翼、下腹部、四肢等に紫斑がある。

2 同じ畜房（畜舎）内において、次のいずれかの症状を示す豚が、1週間ほどの間に増加している。

- ・ 40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退
- ・ 便秘、下痢
- ・ 結膜炎（目やに）
- ・ 歩行困難、後ろ足の麻痺、けいれん
- ・ 削瘦、被毛粗剛、発育不良（いわゆる「ひね豚」）
- ・ 流死産などの異常産
- ・ 皮下出血、皮膚紅斑、天然孔からの出血、血便（血液凝固不全に起因）

3 同じ畜房（畜舎）内において、1週間ほどの間に複数の繁殖または肥育に供する豚が突然死亡する。

⚠ただし、以下の場合はこの限りではない

- ・ 当該農場に浸潤している他の疾病によるものであることが明らかな場合。
- ・ 設備の故障や気温の急激な変化、その他災害等によるものであることが明らかな場合。

